

アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対

みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2022/6/1

No. 41

| | |
|----------|---------|
| 賛同署名総数は | 209,657 |
| 5/31まで | |
| *オンライン署名 | 6,330 |
| *署名用紙署名 | 203,327 |

筆
筆
筆

署名(オンライン&署名用紙) 推進ニュース



<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>

みやぎ生協・コープふくしまは東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水の海洋放出に反対です。反対署名運動へのご協力をお願いします。

オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。
★署名用紙での署名も行っています。 HPまたは事務局へお問い合わせ願います。



スマホはこちらから

★署名 200,000筆超えました。
全国の皆様ありがとうございます。
大きな力と励みになってます！！

< 福島民報2022,4,20



◆2021年4月13日の政府方針決定「ALPS処理水海洋放出」から1年。。。 福島民報で連載されました『検証 海洋放出』についてご紹介します。

① 2022. 4. 20 <分離困難なトリチウム水>「誠実にやりたかった」
名古屋学芸大学 山本一良副学長はトリチウム水の相場観について触れ「トリチウムを分離できるのは分かっていたが、合理的でない。9割減らしても濃度が10分の1のトリチウム水が大量に残り、やる意義が見いだせない。分離せず出すべきというのが専門家の相場観。分離にかかるお金を補償金に充てるべき。」と話しています。山本副学長らの研究チームが出した16年の報告書ではトリチウムの分離について「直ちに実用化できる段階にある技術はない」としていますが、政府も東電もトリチウム分離技術の公募事業を行っています。およそ不可能と分かっている技術を公募している点について「『できない』という常識を捨てゼロから検討しようとしたのですが、誤解を生んだかもしれません。私は誠実にやりたかった」と話しています。

◇トリチウムが含まれる処理水を海に放出する準備が着々と進んでいます。「仕方ない」とあきらめるのではなく、放出することによって起こり得る影響を考え「第2の汚染」を回避する可能性を模索してもらいたいです。



2022/3/30 経産省へ署名提出 箱積みされた思いの詰まった署名を前に行われました。

②2022. 4. 21 <トリチウム分離技術公募>「狙いはブレークスルー」
東電は2021年からトリチウム分離技術の公募を行っています。東電執行役員で処理水の対策責任者である松本純一氏によると公募の狙いは「ブレークスルー(飛躍的な技術の発展)」。簡単に安価にトリチウムを取り除くような新技術が必要だそうです。「福島第一原発の廃炉は敷地内でやり遂げます。敷地を有効利用するために処理水を溜めているタンクを処分して取り出した核燃料の置き場を作りたい」と松本氏は話します。経済産業省は東電よりも早く2014年に分離技術の公募をしており、経産省関係者は「事故の責任を負う者として地元のためにやれることは全てやるという思いだった」と振り返り、「可能性がゼロではないなら追及する」と話しています。

◇「廃炉を敷地内でやり遂げる」と言いながら処理水を海洋放出するのは矛盾しているように感じます。そもそも放射性物質は敷地内で管理することが原則です。安直に決定せず、時間をかけて可能性を追及してもらいたいです。

< 福島民報2022,4,21



< 福島民報2022,4,23



2022/3/30東京電力への署名提出

③ 2022. 4. 23 <実証実験、目標値の5倍>「ロシアは経験がある」
ロシアのソスノボイボールにはロシア国営原子力企業ロスアトム系列のロスラオ社(当時)が造ったトリチウム分離施設があります。ロスラオ社は日本政府の技術公募に応じ実証実験を行い、「水蒸留法」と「同位体交換法」それぞれ実績ある技術を組み合わせることで効率を高めて大型化を可能にしました。日本政府には「すぐに実用化できない」と判断されたそうですが、高い評価を得たそうです。ロスラオ社の後身FEOのフロリア・セルゲイ副社長は「福島への設置は可能だ」と自信をのぞかせています。電力中央研究所の常盤井守泰研究者は「トリチウム分離は経済的には意味がないかもしれませんが、問題はお金ではなく事故で根付いた原子力への不信感を解消することにあるのです」と、日本の原子力の将来を左右する問題について警鐘を鳴らしています。

◇「トリチウムは除去できない」と思い込んでいましたが、技術的に可能だということです。分離できることだけで原発の信頼回復に繋がってしまうのでしょうか。分離できることと原発安全は別次元の話として捉え、技術の革新を願いたいです。



<編集後記>erikoのつぶやき

『自分の機嫌は自分で取る』常々思っていることです。自分の心が何によって整うのかを知ることによって日々楽しく生きることができ、感情に振り回されるのが少なくなります。編集者のサブりは何と言っても魚の鱗取り。魚の下処理をしていると気持ちが落ち着きます。何によって心を乱され、何によって回復するかは人それぞれ、地雷もさまざまです。怒りは怒りを呼び、暴力は暴力しか生みません。平和な世界を自分から。まずは自分自身が穏やかに健やかに...調理しながらささやかな幸せを噛みしめます。

【学習会を考られている皆様へ】 学習会に関する問合せ・相談などお気軽に下記推進事務局にお寄せください。オンラインでの報告説明・意見交流などの調整も致します。(担当 宍戸)

<情報・お問い合わせ先>

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F
TEL024-557-1181 FAX557-5359 * mail :sn.f10243sn@todock.coop (根本)

